

# 2010(平成22)年度 第26期事業報告書

自 2010(平成22)年4月  
至 2011(平成23)年3月

財団法人 日中医学協会



# 目 次

## 事業報告の部

<b>I. 研究助成事業</b>	
A. 日中笹川医学奨学金制度	
1. 第32期研究者受け入れ事業	1
2. 第33期研究者受け入れ事業	1
3. 第33期研究者来日前実施事業	2
4. 第34期研究者の選抜・来日前実施事業	2
5. 関係機関との協議及び運営委員会の開催	3
6. 笹川医学奨学金進修生同学会(同窓会)に対する協力	5
7. 日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会に対する協力	7
B. 共同研究等助成事業	
1. 2010年度助成金受給者	9
2. 委員会の開催	10
3. 2009年度共同研究事業報告会の開催	10
4. 2011年度助成金受給者募集	11
C. 清華大学玉泉病院てんかんセンター派遣医師受け入れ事業	11
<b>II. 学術会議開催</b>	
A. 主催事業	
1. 日中医学交流会議	12
B. 共催・後援事業	
1. 工学院大学孔子学院講演会	12
2. 2010年度医学生のための漢方医学セミナー	12
3. 第1回日中薬物依存シンポジウム	12
4. 第2回日中韓看護学会	12
<b>III. 日中医療保健協力</b>	
1. 中国医療機関への専門家派遣事業	13
2. 医療関連訪日団に対する協力	13
3. 中華医学会訪日代表団の招請	13
4. 日中乳幼児栄養専門家交流の実施	14
5. 伝統医学交流訪中団・会員訪中団の派遣	14
6. 金原記念日中医学交流基金による研究助成	14
<b>IV. 広報事業</b>	
1. 機関誌「日中医学」の発行	15
2. 「NEWS LETTER」の発行	15
3. ホームページの拡充	15
4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力	15
5. 委員会の開催	15
<b>V. 経済産業省受託事業</b>	
1. 平成22年度産業技術人材育成支援事業 {サービス産業分野(国際医療交流人材育成支援事業)}に関する再委託事業	16
2. 平成22年度「サービス産業イノベーション促進事業(国際医療交流調査研究事業)」に係る委託事業(中国関連調査等)	16

## 総務報告の部

<b>I. 役員を選任について</b>	
A. 理事の選任	17
B. 評議員の選出	17
<b>II. 会員拡大と募金活動について</b>	
A. 会員数の推移	17
B. 募金活動	
1. 年末寄付金・その他の寄付金	17
<b>III. 協会運営に係る事項</b>	
A. 理事会・評議員会の開催	18
B. 常任理事会の開催	18
C. 公益法人改革への対応について	19
D. 事業計画・財務委員会の開催	19
E. 各運営委員の委嘱	19
F. 日本財団の補助金について	20
<b>資 料</b>	
日中笹川医学奨学金制度第32期研究者名簿	21
<b>監査報告書</b>	22

## 事業報告の部

### I. 研究助成事業

#### A. 日中笹川医学奨学金制度

2007年8月26日、日本財団笹川陽平会長と中国衛生部蔣作君副部長により「日中笹川医学奨学金制度協定書」が調印された。これは「笹川医学奨学金」の第3次制度ともいうべきもので、5年間に150名の中国医学研究者を招請する。本制度の運営は、中国側は中国衛生部国際交流センターが担当し、日本側は日中医学協会、笹川記念保健協力財団が担当することとなった。

2010年度は、前年度に来日した本制度第32期研究者、2010年9月に来日した第33期研究者の受け入れ及び2011年度来日予定の第34期研究者の選抜を行った。

#### 1. 第32期研究者受け入れ事業

##### (1)来日

2009年9月8日(火) 30名来日

##### (2)研究報告会

開催日：2010年8月25日(水) 10:00～16:45

場 所：日本財団ビル 大会議室A

出席者：役員・委員・指導責任者等 52名  
第32期研究者 30名

内 容：橋本敬太郎常任理事を座長に、第32期研究者30名が1年間の研究成果を発表した。なお、各研究者は研究成果を発表する前に、日本語で感想や抱負等を発表してもらった。

##### (3)研究修了式・歓送会

開催日：2010年8月25日(水)

修了式 17:00～17:40

歓送会 17:50～19:30

場 所：日本財団ビル 大会議室A・食堂

出席者：役員・委員・指導責任者等 58名

第32期研究者 30名

内 容：程普選中国大使館一等書記官、尾形武寿日本財団理事長のご臨席の下、森亘会長から研究者に研究修了証が授与された。歓送会では、指導責任者、来賓らをお互いに和やかに懇談した。

また、日本語で発表した感想等の内容が素晴らしかった以下の研究者3名を表彰した。

王 慰敏 近畿大学医学部産科婦人科学

王 佐岩 日本医科大学内科学  
(循環器・肝臓・老年・総合病態)

劉 穎 大阪産業大学人間環境学部  
文化コミュニケーション学科

#### (4)帰国

帰国日：2010年8月26日(木)

第32期研究者30名は、研究者自身の手配で各地の空港から離日、帰国した。

#### 2. 第33期研究者受け入れ事業

##### (1)来日

2010年8月31日(火) 30名来日(名簿後掲)

##### (2)歓迎式典・歓迎レセプション

開催日：2010年9月1日(水)

歓迎式典 17:00～18:15

歓迎レセプション 18:30～20:00

場 所：東京ガーデンパレス

内 容：式典には、指導責任者、来賓、関係役員等152名が出席した。式典では、大使と医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会の各代表者(含む代理出席)が祝辞を述べられた。なお、式典に先立ち、事務局による研究者へのオリエンテーションを実施した。歓迎レセプションは159名が出席した。

##### (3)研究開始

2010年9月2日(木)、研究者は各自研究先へ移動し、3日(金)から研究を開始した。

#### (4)第23回箱根セミナーの開催

開催日：2010年12月3日(金)～5日(日)

場 所：ホテル箱根アカデミー

内 容：田平武評議員を座長に「より良い研究生活を送るために」をテーマに役員と研究者がディスカッションを行った。セミナー終了後は、初冬の箱根を散策し、英気を養った。

#### (5)外国医師・外国歯科医師臨床修練資格取得

第33期研究者で外国医師・外国歯科医師臨床修練資格を取得した者(2011年3月31日現在)。

・第33期研究者

2011年1月27日許可 1名

戎 龍 医師 北里大学東病院

#### (6)東日本大震災の影響と対応

2011年3月11日(金)に発生した東日本大震災により、日中笹川医学奨学金制度も少なからず影響を受けた。幸い、地震発生翌日には第33期研究者の全員の無事が確認できたが、その後16名が一時帰国(1名は関西方面へ避難)した。協会は随時安達理事長、橋本常任理事、田平評議員ら関係役員を中心に協議を行うとともに、衛生部国際交流センターとも頻繁に連絡を取り合った。協会は、衛生部とも協議の結果、帰国4か月前となる4月25日までには現研究先に戻るよう決定し、衛生部を通じて研究者に通知した。

### 3. 第33期研究者来日前実施事業

#### (1)事前オリエンテーションの実施

実施日：2010年4月23日(金) 09:00～10:00

開催地：衛生部中国医科大学語学研修センター  
(遼寧省瀋陽市)

概 要：本奨学金制度の仕組み等について説明を行うとともに、研究者からの質問に答えた。

#### (2)訪日前面接試験・オリエンテーション

実施日：2010年7月15日(水) 終日

開催地：衛生部中国医科大学語学研修センター  
(遼寧省瀋陽市)

備 考：本制度では、研究者に対し3か月間の来日前語学研修の受講を義務付けている。協会は衛生部が語学研修終了時に実施している面接試験への協力と来日前のオリエンテーションを行うため、末原珠生、華海艶両担当職員を派遣した。面接試験では語学研修の成果の確認を行い、オリエンテーションでは、日本で注意すべき事柄を中心に説明した。

### 4. 第34期研究者の選抜・来日前実施事業

#### (1)第34期研究者の募集

期 間：2010年12月1日(水)～2011年1月16日(日)

概 要：衛生部国際交流センター、協会、同学会の各ホームページに募集要項を掲載した。また、協会から研究者OBに対し優秀な若手医師に応募を促進するよう通知した。

#### (2)日中合同面接試験

実施日：2011年2月28日(月)～3月1日(火)

場 所：衛生部国際交流センター会議室

概 要：第34期生候補者40名に対する面接試験を、日中双方3名ずつの面接官により実施した。面接は日本語或いは英語により行った。終了後、面接官による評価が行われ、研究者30名、補欠5名を内定した。なお、事務局から末原珠生、華海艶両担当職員が同行した。

面接官：

日本側面接官：

田平 武 日中笹川医学奨学金運営委員会副委員長  
順天堂大学大学院認知症・予防・治療学教授

高松 研 日中笹川医学奨学金運営委員会委員  
東邦大学医学部生理学(細胞生理)教授

加我君孝 日中笹川医学奨学金制度担当常任理事

国立病院機構東京医療センター感覚器センター長

中国側面接官：

于 修成 衛生部科技教育司副司長  
烏 正賚 協和医科大学公共衛生学院教授  
潘 伯臣 中国医科大学附属盛京医院婦産科教授

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：委員10名、オブザーバー1名  
事務局3名

概 要：副委員長の委嘱、現行制度及び次期奨学金制度について協議を行った。

## 5. 関係機関との協議及び運営委員会の開催

### (1)三者会議

開催日：2010年11月27日(土) 14:30～16:30  
場 所：北京大學医学部逸夫教學樓101号室  
出席者：

衛生部

李 明柱 国際合作司亜非処長

衛生部国際交流センター

田 民 副主任

周 簡 民間連絡一部長

戴 維 民間連絡一部職員

日中医学協会

安達 勇 理事長

橋本敬太郎 常任理事  
(日中笹川医学奨学金運営委員会委員長)

比留間聡 事務局長

末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当職員

笹川記念保健協力財団

紀伊國献三 理事長

松本源二 事務局長

榎 洽子 日中医学奨学制度室長

八百板喜美 総務部係長

日本財団(オブザーバー)

吉田哲朗 公益・ボランティア支援グループ長

浅倉麻衣子 公益・ボランティア支援グループ福祉チーム

概 要：第34期・第35期研究者の募集及び招請に関する日程、運営方法について協議・決定した。また、次期奨学金制度に関して意見交換を行い、三者とも制度継続の意志があることを確認した。

### (2)第7回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2010年6月7日(金) 18:30～20:30

### (3)第8回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2010年9月30日(木) 18:30～20:30

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：委員8名、担当常任理事2名  
オブザーバー1名、事務局3名

概 要：2010年11月27日に開催する三者会議に先立ち、同会議で協議する事項、次期奨学金制度について協議を行った。

### (4)第9回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2011年3月8日(火) 18:30～20:30

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：委員10名、担当常任理事1名  
オブザーバー1名、事務局3名

概 要：先に中国で実施した面接試験の結果及び面接試験前に実施した書類審査の結果に基づき、第34期研究者30名、補欠5名を決定した。次期奨学金制度についても意見交換を行った。

### (5)次期奨学金制度検討のためのワーキンググループ

#### ・第1回ワーキンググループ

開催日：2010年5月31日(月) 18:30～20:30

場 所：順天堂大学田平教授室

出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、林委員、加我常任理事、酒谷常任理事、事務局3名

概 要：2012年3月に新制度協定書調印を目標として内容を検討していくことを決定した。

#### ・第2回ワーキンググループ

開催日：2010年9月13日(月) 18:30～20:30

場 所：日中医学協会事務所

出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、林委員、加我常任理事、事務局3名

- 概要：同学会訪日団との懇談、中国の医療現状視察に基づき、次期制度のコンセプトを協議した。
- ・第3回ワーキンググループ
 

開催日：2010年10月14日(木) 18:30～20:30  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、林委員、酒谷常任理事、事務局3名  
概要：先の日中笹川医学奨学金運営委員会で作された意見を基に、次期奨学金制度と指導教官に対するアンケート内容について意見交換を行った。
  - ・第4回ワーキンググループ
 

開催日：2010年11月18日(木) 18:30～20:30  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、林委員、酒谷常任理事、事務局3名  
概要：次期奨学金制度のコンセプトについて協議を行った。翌19日に日本財団に提出した。
  - ・第5回ワーキンググループ
 

開催日：2010年12月16日(木) 18:30～20:30  
場 所：順天堂大学田平教授室  
出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、林委員、酒谷常任理事、事務局3名  
概要：先に行われた三者会議と同学会理事との懇談の内容、特に中国側から提起された「中国側負担」から考えられるメリットとデメリットについて協議した。
  - ・第6回ワーキンググループ
 

開催日：2011年1月27日(木) 18:30～20:30  
場 所：順天堂大学田平教授室  
出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、林委員、事務局3名  
概要：ワーキンググループで検討してきた次期奨学金制度の方向性、内容に基づき日本財団に提出する文案を作成することを決定した。
  - ・第7回ワーキンググループ
 

開催日：2011年2月24日(木) 18:30～20:30
- 場 所：順天堂大学田平教授室  
出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、林委員、事務局3名
- 概要：日本財団に提出する次期奨学金制度内容、衛生部との事務レベル協議の内容について協議を行った。
- ・第8回ワーキンググループ
 

開催日：2011年3月24日 18:30～20:30  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、林委員、事務局3名  
概要：日本財団に提出する次期奨学金制度内容、衛生部との事務レベル協議の内容について協議を行った。
- (6)次期奨学金制度検討のための事業
- ・同学会訪日団の招請
 

期 間：2010年7月29日(木)～8月1日(日)  
概要：中国の医療状況について理解を深めるため、中国の貧困地域に属する西北地域、西南地域、東北地域在住の笹川生を招請し、各地の医療現状について紹介してもらった。

団名簿：  
 団長 景 涛 蘭州大学副学長(17期生)  
 団員 李 顕筑 黒竜江省中西医结合研究所所长(8期生)  
 冉 玉平 四川大学華西医院皮膚性病科教授(4期生)  
 李 忠金 北京雅達翻譯公司總經理(12期生)
  - ・中国医療現状視察訪中団の派遣
 

期 間：2010年8月10日(火)～8月15日(日)  
概要：中国の医療状況について理解を深めるため、日中笹川医学奨学金運営委員会委員による訪中団を組織し、西北地域(甘肅省)と東北地域(黒竜江省)の都市部と農村部の医療現状を視察した。

団名簿：  
 団長 安達 勇 理事長  
 団員 橋本敬太郎 日中笹川医学奨学金運営委員会委員長  
 田平 武 日中笹川医学奨学金運営委員会副委員長  
 根本則道 日中笹川医学奨学金運営委員会委員

星合 昊 日中笹川医学奨学金運営委員会委員  
高松 研 日中笹川医学奨学金運営委員会委員  
末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当  
李 忠金 笹川医学奨学金進修生同学会秘書長(北京から)

戴 維 民間連絡一部(兼通訳)

日中医学協会

田平 武 日中笹川医学奨学金運営委員会副委員長  
高松 研 日中笹川医学奨学金運営委員会委員  
末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当職員  
華 海艶 日中笹川医学奨学金制度担当職員

概要：次期奨学金制度コンセプト・内容について意見交換した。

#### (7)関係機関との協議

##### ・衛生部国際交流センターとの事務レベル協議

開催日：2010年4月25日(日) 16:30～17:45

場所：衛生部国際交流センター会議室

出席者：

衛生部国際交流センター

周 簡 民間連絡一部部長

戴 維 民間連絡一部(兼通訳)

日中医学協会

岡田光子 業務課長

末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当職員

概要：研究者の募集・申請時の問題や次期奨学金制度について協議を行った。

##### ・衛生部国際交流センターとの事務レベル協議

開催日：2011年1月26日(水) 09:30～11:30

場所：北大博雅国際酒店

出席者：

衛生部国際交流センター

周 簡 民間連絡一部部長

戴 維 民間連絡一部(兼通訳)

日中医学協会

比留間聡 事務局長

末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当職員

日本財団

吉田哲朗 公益・ボランティア支援グループ長

浅倉麻衣子 公益・ボランティア支援グループ福祉チーム

概要：先の三者会議で中国側から提起のあった「中国側負担」を中心に、次期奨学金制度について意見交換した。

##### ・衛生部国際交流センターとの事務レベル協議

開催日：2011年2月27日(日) 15:00～17:30

場所：衛生部国際交流センター会議室

出席者：

衛生部国際交流センター

周 簡 民間連絡一部部長

##### ・衛生部国際交流センターとの事務レベル協議

開催日：2011年3月28日(月) 09:30～11:30

場所：衛生部国際交流センター会議室

出席者：

衛生部国際交流センター

周 簡 民間連絡一部部長

戴 維 民間連絡一部(兼通訳)

日中医学協会

比留間聡 事務局長

概要：東日本大震災発生に伴う奨学金制度運営、次期奨学金制度の費用負担について意見交換した。

## 6. 笹川医学奨学金進修生同学会(同窓会)に

対する協力

### (1)学術交流会の開催

開催日：2010年11月27日(土) 09:00～17:00

場所：北京大学医学部逸夫教学楼309号室

(北京市)

テーマ：内科・難治性疾患の基礎と臨床

概要：会議には129名が出席し、日本からも特別講演演者を含む31名が出席した。特別講演の後、8名の研究者が研究成果を発表、討論も活発に行われ、充実した学術交流会となった。

特別講演：

渡辺賢治 慶応義塾大学医学部漢方医学センター長

『伝統医学の世界的潮流』

王 喜軍 黒竜江省中医薬大学副学長(10期生)

『A system balance matched with drug synergy of traditional Chinese medical formula』



同学会会員報告

- 金 政錫 黒竜江省医院普通外科教授(5期生)  
『膵臓癌の浸潤特徴と臨床治療対策』
- 張 正茂 河北医科大学附属第四医院教授(30期生)  
『The Antitumor Effects of transfected CD40L cDNA on Ovarian Cancer』
- 許 慶友 河北医科大学  
中西医結合学院内科教授(10期生)  
『Cyclosporine nephropathy and mineralocorticoid receptor blockade』
- 孟 召偉 天津医科大学総医核医学講師(30期生)  
『A Prospective Imaging Study on the Diagnosis of Pathological False Positive Iodine-131 Scan in Thyroid Cancer Patient』
- 裴 海成 延辺大学附属医院教授(6期生)  
『メタボリックシンドローム』
- 陸 小左 天津中医薬大学  
中医薬工程学院教授(6期生)  
『脈図検出に基づく冠状動脈性心臓病の予測』
- 劉 旭光 吉林大学第一医院  
心臓血管外科講師(30期生)  
『大動脈内ステントに主動脈瘤の治療』
- 韓 晶岩 北京大学  
医学部中西医結合教研室教授(9期生)  
『虚血再灌流によるラット心臓微小循環障害と心筋障害に対する复方丹参滴丸の改善作用』

優秀発表者授与式：

日本側参加者と同学会役員とで発表内容が特に素晴らしいと思う研究者を選び、表彰した。

- 金 政錫 黒竜江省医院普通外科教授(5期生)
- 韓 晶岩 北京大学  
医学部中西医結合教研室教授(9期生)

(2)ボランティア診療の実施

実施日：2010年8月11日(水)～15日(日)

場 所：甘肅省蘭州市皋蘭県

概 要：景涛蘭州大学副学長を中心に北京、四川等の4名のOBを中心に実施した。なお、同団には中国医療現状視察団(団長：安

達勇理事長)が参加した。

(3)同学会役員との協議・懇談

1)趙群同学会理事長と安達理事長との協議  
開催日：2010年4月22日(木) 16:30～17:30  
場 所：中国医科大学(遼寧省瀋陽市)

出席者：

同学会

- 趙 群 理事長(10期生)
- 李 忠金 秘書長(12期生)
- 許 順 副秘書長(15期生)

日中医学協会

- 安達 勇 理事長
- 岡田光子 業務課長
- 末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当職員

中国医科大学

- 才 越 国際交流处处長
- 潘 伯臣 国際交流処副処長

協議内容：

2010年度同学会活動計画、同学会支部活動の強化策、次期奨学金制度以降の同学会活動について協議・懇談を行った。

2)同学会役員との協議

開催日：2010年11月27日(土) 20:30～22:00  
場 所：唯実国際交流中心(北京市)

出席者：

同学会

- 趙 群 理事長(10期生)
- 李 忠金 秘書長(12期生)
- 王 甲東 理事(1期生)
- 孫 乃学 理事(2期生)
- 戴 豪良 理事(3期生)
- 趙 樹華 理事(4期生)
- 韓 晶岩 理事(9期生)
- 許 順 理事(15期生)
- 劉 愛民 理事(18期生)
- 万 毅剛 理事(26期生)

日中医学協会

- 安達 勇 理事長
- 橋本敬太郎 常任理事

日中笹川医学奨学金運営委員会委員長

高松 研 日中笹川医学奨学金運営委員会委員

比留間聡 事務局長

末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当職員

笹川記念保健協力財団

紀伊國献三 理事長

松本源二 事務局長

槇 洽子 日中医学奨学制度室長

八百板喜美 総務部係長

日本財団

吉田哲朗 公益・ボランティア支援グループ長

浅倉麻衣子 公益・ボランティア支援グループ福祉チーム

懇談内容：

同学会の2011年度活動計画や同会支部活動の他、同学会から提案のあった次期奨学金制度について懇談した。

### 3) 笹川日本財団会長と

北京在住同学会会員との昼食会

開催日：2011年1月25日(火) 12:00～13:30

場 所：北大博雅国際酒店

出席者：同学会会員18名、

日本側19名

(安達理事長、橋本常任理事出席)

### 4) 尾形日本財団理事長と

北京在住同学会会員との懇談

開催日：2011年1月25日(火) 14:00～15:30

場 所：北大博雅国際酒店

出席者：同学会会員15名、

日本側10名

(安達理事長、橋本常任理事出席)

懇談内容：

同学会理事が提出した2011年度事業計画案をもとに、同学会会員と本奨学金制度について懇談を行った。尾形理事長からの提案で、再度懇談会を開催することになった。

### (4) その他

#### ・ 監査の実施

実施日：2010年7月22日(木)～23日(金)

場 所：同学会事務所(北京市)

実施者：比留間聡 事務局長

上野恵子 経理担当職員

概 要：同学会が2009年度に実施した事業に対する監査を実施し、事業の実施方法について意見交換した。併せて経理処理の具体的事項について指導を行った。

### (5) 東日本大震災被災者への義援金の呼びかけ

同学会は、東日本大震災発生後OBに対して義援金の呼びかけを行い、同学会は3月31日現在363,289.02円(≒4,671,900円)が集まり、4月1日に日本財団に寄付した。

## 7. 日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会に

対する協力

### (1) 2009年度笹連会総会

開催日：2010年4月4日(日) 10:30～12:00

場 所：日本財団ビル会議室

概 要：2009年度活動内容の報告と2010年度活動内容について協議を行った。総会には役員その他関係団体役職員など計20名が出席した。

### (2) 第2回お花見会

開催日：2010年4月4日(日) 13:30～

場 所：新宿御苑(東京都新宿区)

概 要：笹連会会員、第32期研究者、日本財団、日中医学協会、笹川記念保健協力財団の役職員ら24名が参加した。

### (3) 北海道支部の設立

2010年11月12日(金)、笹連会二つ目の支部として北海道支部が誕生した。支部長には、趙松吉北海道大学准教授(19期生)が就任した。

### (4) 第3回在日笹川研究者セミナー

開催日：2010年11月13日(土) 15:00～17:00

場 所：東京ガーデンパレス

概 要：日本で活躍する同会会員3名が日頃の研究成果を発表した。セミナーには同会会

員、来賓、第33期研究者ら37名が出席し、  
討論も活発に行われ、充実したセミナー  
となった。

講演者：

李 天成 国立感染症研究所  
ウイルス第二部・主任研究官(11期生)

『Recombinant Baculovirus Expression System  
for Vaccine Development』

蔡 偉華 上海潤東バイオテックジャパン(株)  
臨床研究部グループリーダー(18期生)

『中国医療機器市場の状況及び先進国日本に  
学ぶべきこと』

『再生医療の研究を支える世界技術3次元培  
養可能な合成細胞マトリックスQ Gel ～Natu  
re誌 掲載論文より～』

『腫瘍学、放射線医学などの基礎研究に最適  
な装置ー日立X線照射装置の紹介』

趙 松吉 北海道大学大学院医学研究科  
トレーサー情報分析学・准教授(19期生)

『腫瘍と炎症の鑑別診断：ポストFDG-PETの  
有用性について～小動物用PETを中心に～』

参加者：11名

概要：第33期研究者とともに静岡県立静岡がん  
センター及びOBが勤務する(株)ホゾリサ  
ーチセンターを参観した。東京本部の活  
動として実施した。

(7)東日本大震災被災者への義援金の呼びかけ

笹連会は、東日本大震災発生後日本在住のOBに  
対して義援金の呼びかけを行った。

#### (5)第33期研究者との座談会

開催日：2010年12月4日(土) 19:00～23:30

場 所：ホテル箱根アカデミー

概要：第33期研究者との懇談会を開催、同研究  
者が抱えている問題についての的確なアド  
バイスを行った。特に研究者からは、日  
本人とのつきあい方、日本語の学習方法、  
研究の進め方等について質問が多かった。

#### (6)その他の活動

・アサヒビール工場見学

開催日：2011年1月22日(土)

参加者：8名

概要：第33期研究者とともにアサヒビール工場  
を見学した。関西支部の活動として実施  
した。

・静岡県立静岡がんセンター・(株)ホゾリサーチセン  
ター参観

開催日：2011年2月23日(水)

## B. 共同研究等助成事業

1996年度以降、本事業は日本財団の助成金を受けて実施。2010年度は92件の応募申請の中から、共同研究等助成事業委員会の選考により4区分26件に助成した。

### 1. 2010年度助成金受給者

#### (1) 調査共同研究助成

① 浙江省余姚市において多発する中皮腫症例の臨床病理学的検討および石綿曝露の解析

申請者：廣島健三 千葉大学大学院医学研究院  
共同研究者：高志斌 浙江省余姚市人民医院

② 中国の日本住血吸虫症流行地に分布する中間宿主員に対する住血吸虫の感染感受性の地理的特異性に関する研究

申請者：太田伸生 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科  
共同研究者：陸紹紅 浙江省医学アカデミー 寄生虫病研究所

③ 脱共役タンパク質UCP2を標的にした大腸癌漢方治療法の研究

申請者：喬善楼 中部大学生命健康科学部  
共同研究者：李曉濤 華東師範大学生命医学研究所

④ 自己免疫疾患の抑制に必須な胸腺環境とT細胞の分化制御

申請者：秋山泰身 東京大学医科学研究所  
共同研究者：張毓 北京大学

⑤ エネルギー代謝関連酵素の心疾患における役割解明・治療への応用

申請者：高島成二 大阪大学大学院医学系研究科  
共同研究者：廖禹林 南方医科大学

⑥ 中国神経管閉鎖障害高発地域における繰り返し流産する女性の甲状腺機能を含むヨード代謝及び葉酸代謝に関する研究

申請者：顧艷紅 国立成育医療センター研究所  
共同研究者：張靈 北京市小児科研究所

⑦ C型肝炎ウイルスコア蛋白変異と発癌および抗ウイルス治療効果

申請者：加藤直也 東京大学医科学研究所  
共同研究者：王岳 中国疾病対策予防センター

⑧ プロテオーム解析による肝細胞癌の病態解明に基づく個別化医療実現のための新規診断技術の開発および創薬シーズの探索

申請者：近藤格 国立がんセンター研究所  
共同研究者：樊嘉 復旦大学附属中山医院

⑨ 妊婦および乳幼児歯科保健に関する研究

申請者：下野勉 岡山大学大学院 医歯薬総合研究科  
共同研究者：葛立宏 北京大学口腔医学院

⑩ チタン表面改質による即時荷重インプラントシステムの開発

申請者：吉成正雄 東京歯科大学 口腔科学研究センター  
共同研究者：魏建華 第四軍医大学口腔医学院

⑪ 中国上海における多環芳香族炭化水素／ニトロ多環芳香族炭化水素の大気汚染と生殖発生毒性との関連に関する基礎研究

申請者：唐寧 金沢大学  
共同研究者：呉慶 復旦大学公共衛生学院

⑫ 早期動脈硬化症に特異的変動を示し血管病変を効率よく評価しうる新規マイクロRNAバイオマーカーの同定と日本人・中国人での比較

申請者：藤井聡 名古屋市立大学大学院 薬学研究科  
共同研究者：馬明月 瀋陽医学院

⑬ 過剰介護予防を焦点にした主介護者のエンパワメントと要介護者の日常生活動作との関連性に関する日中の比較

申請者：呉小玉 園田学園女子大学 人間健康学部  
共同研究者：徐迅迪 中南大学湘雅医院

#### (2) 中国人研究者・医療技術者招聘助成

① 先天性難聴児の新生児聴覚スクリーニングの効果に関する比較研究

招聘者：新正由紀子 東京医療センター 臨床研究センター  
被招聘者：黄麗輝 首都医科大学 附属北京同仁病院

② Diagnosis and treatment of myelodysplastic syndrome in children

招聘者：真部淳 聖路加国際病院

被招聘者：陳 曉娟 中国医学科学院血液研究所

申請者：真柳 誠 茨城大学大学院人文科学研究科

③アデノシンA2A受容体の睡眠調節の役割

②日本中医学会設立記念シンポジウム

招聘者：裏出良博 大坂バイオサイエンス研究所

申請者：平馬直樹 日本医科大学

被招聘者：邱 梅紅 復旦大学上海医学院

(3)在留中国人研究者研究助成

2. 委員会の開催

①医療への応用に最適化されたチャンネルロドプシンの開発

(1)第1回共同研究等助成事業委員会

受給者：王 紅霞 東北大学大学院生命科学研究科

日時：2010年6月22日(火) 17:00～18:00

指導者：八尾 寛 教授

場所：日本財団ビル2階会議室

出席者：委員長含む委員6名(委任状出席8名)  
事務局2名

②薬剤耐性ウイルス出現における自然免疫効果分子APOBECの役割

議題：2009年度助成事業完了報告

受給者：王 哲 金沢大学大学院医学系研究科

2010年度助成事業現況報告

指導者：村松正道 教授

副委員長の委嘱

2011年度募集要綱他

③サイログロブリンが持つ細胞増殖・遺伝子発現調節機能を担う活性部位の同定

受給者：呼和哈斯 山梨大学医学部

(2)第2回共同研究等助成事業委員会

指導者：加藤良平 教授

日時：2011年2月25日(金) 18:00～19:30

④Dravet症候群患者におけるmodifier遺伝子異常

受給者：石 秀玉 福岡大学医学部

場所：学士会館310号室

指導者：廣瀬伸一 教授

出席者：委員長含む8名(委任状出席6名)

担当常任理事1名、事務局2名

⑤子宮筋腫細胞増殖・線維化における低酸素細胞内シグナル伝達機構解析

受給者：李 賓 東北大学医学部

議題：2010年度助成事業中間報告

指導者：武田 卓 准教授

2011年度助成金受給者の選定について

2011年度助成金報告会について

⑥既存抗体陽性移植の克服および臓器移植後新規抗体産生機序の解明とその制御に関する研究

受給者：謝 琳 大阪大学大学院医学系研究科

指導者：高原史郎 教授

3. 2009年度共同研究事業報告会の開催

日時 2010年6月22日(火) 16:00～17:00

場所 日本財団第一・第二会議室

出席者 武藤徹一郎、跡見 裕、五十嵐正広、  
渡邊善照、金井Pak雅子、吉田哲朗、  
依田弘美

⑦インターロイキン11(IL-11)による骨シアロタンパク質の転写調節

受給者：王 霜 日本大学松戸歯学部

指導者：小方頼昌 教授

概要 2009年度に実施した共同研究等助成事業  
助成金受給者の中から優秀な成果を収めた  
研究者の報告会、表彰式を開催した。

報告者

①路 平 名城大学薬学部薬品作用学

「アルツハイマー病動物モデルを用いたsilibininの薬効評価」

②黄 岩杰 浜松医科大学大学院内科学第一講座

⑧分裂酵母におけるRan GTPase新規変異体の単離と解析

受給者：周 鑫 神戸大学大学院医学研究科

指導者：久野高義 教授

(4)トラベルグラント

①第2回日中韓医史学会合同シンポジウム

「高塩分摂取による腎線維化の進行における腎組織受容体随伴プロレニン系と尿細管レニン発現」

③王 麗楊 済生会茨木病院

「前立腺がんの造骨性骨転移のメカニズム解明」

#### 4. 2011年度助成金受給者募集

(1)募集区分・件数 (「( )」内は応募件数)

①調査・共同研究助成 10～15件(56件)

②中国人研究者・技術者招聘助成 1～5件(3件)

③在留中国人研究者助成 5～10件(32件)

④トラベルグラント 1～5件(7件)

(2)募集期間

2010年11月1日(月)～12月31日(金)

(3)募集媒体

機関誌「日中医学」、「NEWS LETTER」、ホームページ、関係学会ホームページ

#### C. 清華大学玉泉病院てんかんセンター派遣医師受け入れ事業

清華大学玉泉病院(清華大学第二附属病院)と協会は、同院てんかんセンター研究者の人材育成、両国の医学・医療分野の交流の促進及び両国国民の健康と福祉の向上、相互理解を深めることを目的とする「研究者育成プロジェクト」を設立し、2009年から2012年の3年間に毎年2名を3か月間招請する計画で実施しているが、2010年度は中国側の事情で1名のみを受け入れとなった。

なお、この事業は清華大学玉泉病院の助成金で実施する。

(1)第1回派遣医師

氏名：孫 朝暉 (女)

所属：清華大学玉泉病院外科 医師

研修機関：静岡てんかん・神経医療センター

指導者：馬場好一 脳神経外科

入国・帰国：2011年1月11日(火) 入国

2011年3月21日(月) 帰国

備考：東日本大震災の発生により、研修を途中で切り上げ帰国した。

## II. 学術会議開催

### A. 主催事業

#### 1. 日中医学交流会議

テーマ：「胃腸と健康

－消化管炎症、発がんへの細菌の関与－

日時：2010年11月11日(木) 13:00～18:00

会場：日本医師会館 小講堂

主催：日中医学協会、日本医師会

主催者：日比紀文 慶應義塾大学医学部教授・日中医学協会常任理事

後援：厚生労働省、中華人民共和国駐日本国大使館科学技術処、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器がん検診学会、日本消化吸収学会

参加者：シンポジウム100名、懇親会70名

司会：池谷田鶴子 日中医学協会理事

座長：石井正三 日本医師会常任理事・日中医学協会評議員  
日比紀文 慶應義塾大学医学部教授・日中医学協会常任理事

プログラム

挨拶 森岡恭彦 日中医学協会副会長

原中勝征 日本医師会会長

李 纓 中国大使館科学技術処参事官

難波吉雄 厚生労働省健康局疾病対策課長

講演 I

「胃腸疾患の重複症治療計画とPROスケール」

唐 旭東 中国中医科学院西苑医院院長

講演 II

「ピロリ菌除去により胃がん予防は可能か」

浅香正博 北海道大学医学部教授

講演 III

「アジアの炎症性腸疾患に関する考察」

銭 家鳴 中国医学科学院北京協和医学院主任教授

講演 IV

「自然免疫と病原体認識レセプター」

審良静男 大阪大学

免疫学フロンティア研究センター拠点長

パネルディスカッション

懇親会(会場：談話室)

### B. 共催・後援事業

#### 1. 工学院大学孔子学院講演会

開催日：2010年4月17日(土)

開催地：工学院大学新宿キャンパス

アーバンテックホール(東京都新宿区)

テーマ：癌制圧漢方最前線－西洋医学との接点－

主催：工学院大学孔子学院

後援：日中医学協会

参加者：130名

#### 2. 2010年度医学生のための漢方医学セミナー

開催日：2010年8月3日(火)～8日(日)

開催地：琵琶湖グランドホテル(滋賀県大津市)

主催：小太郎漢方製薬株式会社

後援：日中医学協会、日本TCM研究所、天津中医薬大学

参加者：23名

#### 3. 第1回日中薬物依存シンポジウム

開催日：2010年11月12日(金)

開催地：千葉大学医学部図書館

ライブラリーホール(千葉県千葉市)

主催：千葉大学

後援：日中医学協会、中華人民共和国大使館科学技術処、国立精神神経医療研究センター

参加者：40名

#### 4. 第2回日中韓看護学会

(後援事業)

開催日：2010年11月20日～22日

開催地：聖路加看護大学他(東京都中央区)

主催：日本看護協会

共催：中華護理学会、大韓看護師協会

後援：日中医学協会、国際看護交流協会、日本財団

特別協賛：テルモ(株)、ナガイレーベン(株)

参加者：300名

### Ⅲ. 日中医療保健協力

#### 1. 中国医療機関への専門家派遣事業

中国の地域医療を担う基幹病院へ、必要とする専門家を派遣し、レベルの向上、医学交流の促進を目的とした事業。2010年度は、1名の専門家を派遣した。

##### (1) 中日友好病院

・笠松高弘 国立がん研究センター中央病院  
婦人腫瘍科科長

テーマ：婦人科癌治療の進展

期 間：2010年6月7日(月)～10日(木)

備 考：「婦人科がん治療の進展」というテーマで講演を行い、北京大学、中国科学院、その他の機関の専門家も交えて学術討論も行った。

#### 2. 医療関連訪日団に対する協力

日中両国の医療関係者の交流を促進するため、2010年度は、6件の訪日団の招聘や病院視察等の手配を行った。

##### (1) 老年医学訪日団

期 間：2010年4月10日(土)～14日(水)

団構成：王 建業 北京医院副院長他30名

訪問先：国立長寿医療センター、順天堂大学江東区高齢者医療センター病院

備 考：4月12日にセミナーを開催した。

##### (2) 周産期栄養管理訪日団

期 間：2010年4月19日(月)～23日(金)

団構成：張 運平 北京市海淀区婦幼保健院院長他26名

訪問先：愛育病院、順天堂大学附属病院(半数)、杏林大学附属病院(半数)

備 考：4月20日にセミナーを開催した。

##### (3) 中国婦幼保健院訪日団

訪問日：2010年5月18日(火)

2010年5月19日(水)

団構成：彭 振耀 北京海淀区婦幼保健院院長他11名

訪問先：山王病院(18日)、

東京リバーサイド病院(19日)

##### (4) 中国手術看護学術交流訪日団

訪問日：2010年7月8日(木)

2010年7月9日(金)

団構成：楊 美玲 江蘇省人民医院麻醉手術科看護長他8名

訪問先：N T T東日本関東病院(8日)、

静岡県立静岡がんセンター(9日)

##### (5) 日本中医学会創立記念シンポジウム演者招聘

期 間：2010年8月26日(木)～31日(火)

団構成：王 笑頻 中国国家中醫藥管理局國際合作司副司長

備 考：王氏は、8月29日(日)の日本中医学会設立記念シンポジウムにおいて「中国国内の医療における中医学の現況」について講演した。

##### (6) 長沙・佛山市病院長等訪日団

訪問日：2010年9月10日(金)

団構成：丁 紅霞 佛山市婦幼保健院

紀律検査委員会書記他5名

訪問先：癌研究会有明病院

#### 3. 中華医学会訪日代表団の招聘

期 間：2010年11月23日(火)～28日(日)

概 要：中華医学会は、2010年4月に役員が交代した。今回の招聘は同会新役員がこれまで関係の深い友好団体を訪問し、日本との交流を深めるためのもので、中華医学会の依頼により実施した。

団名簿：羅 玲 中華医学会副秘書長

張 輝 中華医学会組織管理部主任

蔡 麗楓 中華医学会雑誌社副社長

張 立華 中華医学会学術会務部(通訳)

訪問先：日中医学協会、日本医師会、日本医学会、順天堂大学、武田科学振興財団



#### 4. 日中乳幼児栄養専門家交流の実施

期 間：2010年9月26日(日)～30日(木)

概 要：協会は、(株)和光堂が中国で実施した日中乳幼児栄養専門家交流に対して、専門家の派遣、セミナーの実施等により協力した。協会から太田晶子職員が同行した。

派遣専門家：

堤ちはる 母子愛育会日本子ども家庭総合研究所  
母子保健研究部栄養担当部長

セミナー：

日 時：2010年9月28日(火) 08:00～14:00

場 所：北京大学公共衛生学院

テーマ：日中両国における乳幼児栄養指導について

訪問先：北京科技大学校医院保健科、海淀区婦幼保健院の参観、離乳食市場調査、衛生部国際合作司、母子健康関連部門の表敬訪問

#### 5. 伝統医学交流訪中団・会員訪中団の派遣

協会は2009年に引き続き、企画訪中団「伝統医学交流訪中団」及び「協会医療事情視察団」を実施した。

##### (1) 伝統医学交流訪中団

目 的：中医学によるがん治療の最前線

期 間：2010年8月4日(水)～8日(日)

団構成：酒谷薫常任理事ら全11名

参観先：上海中医薬大学曙光医院、南京大学医学院附属鼓楼医院、江蘇省中医院、上海中医薬博物館参観及び太極拳体験等。

備 考：「中医学によるがん治療」セミナーを開催した。

##### (2) 協会医療事情視察団

目 的：中国の地方都市における医療の現状の視察と同学会学術交流会への出席。

期 間：2010年11月26日(金)～12月1日(水)

参加者：安達勇理事長ら全14名

参観先：北京市

・東湖医療衛生服務中心(一級病院)

・望京医療衛生服務中心(一級病院)

山東省泰安市

・泰山医学院

山東省済南市

・中国重型汽車集団病院(二級病院)

#### 6. 金原記念日中医学交流基金による研究助成

1985年から公益信託として設立された本基金に対して、協会は募集等の面で協力していたが、今年度より受託者のみずほ信託銀行と協定を結び、募集以外にも委員会の運営に協力することとした。

## IV. 広報事業

### 1. 機関誌「日中医学」の発行

機関誌「日中医学」第25巻1～4号を以下の通り発行した。

第1号(2010年5月)

特集「日中における口腔疾患診療の現状」

第2号(2010年8月)

特集「中国における臨床試験システム」

第3号(2010年11月)

特集「伝統薬による認知症の予防と治療」

第4号(2011年3月)

特集 2010年日中医学交流会議「胃腸と健康」

### 2. 「NEWS LETTER」の発行

2003年から協会の活動を幅広く、わかりやすく紹介するため機関紙「NEWS LETTER」を発行している。今年度は、No.21～No.23を発行した。

No.21(2010年5月発行)

記事「第24回中華医学会全国会員代表大会に参加して」他

No.22(2010年9月発行)

記事「2010年日中医学交流会議開催について」他

No.23(2010年12月発行)

記事「中国の医療現状視察を終えて」他

### 3. ホームページの拡充

協会事業に関するお知らせ掲載等の広報を充実した。

特に、東日本大震災発生後は、中国各界からの見舞い状、体験記等を掲載した。

<http://www.jpncma.or.jp>

### 4. 「International Chinese Journal of Dentistry」

への協力

季刊誌「International Chinese Journal of Dentistry」の Sponsoring Organization として協力した。

### 5. 委員会の開催

#### a. 第1回広報委員会

日時：2010年6月17日(木) 18:00～20:00

場所：協会事務所

出席者：委員長他委員5名

議題：

- ・「日中医学」、「NEWS LETTER」発行報告
- ・副委員長の委嘱
- ・投稿規定の審議

#### b. 第2回広報委員会

日時：2010年9月8日(水) 18:00～20:00

場所：日中医学協会事務所

出席者：委員長他委員6名、担当常任理事1名

議題：

- ・「日中医学」25巻1号・2号、「NEWS LETTER」No.22の発行報告
- ・「日中医学」26巻の特集テーマ、連載記事の決定と、広告の依頼分担について
- ・「日中医学」投稿規定について

#### c. 第3回広報委員会

日時：2011年1月27日(木) 18:00～19:30

場所：協会事務所

出席者：委員長他委員5名、担当常任理事1名

議題：

- ・「日中医学」25巻3号、「NEWS LETTER」No.23の発行報告。
- ・「日中医学」25巻、「NEWS LETTER」No.21～No.23の広告掲載申込報告
- ・「日中医学」26巻掲載記事について
- ・「日中医学」中国語原稿掲載について
- ・「日中医学」26巻広告掲載について
- ・「NEWS LETTER」No.24の発行について

## V. 経済産業省受託事業

### 1. 平成22年度産業技術人材育成支援事業〔サービス産業分野(国際医療交流人材育成支援事業)〕に関する再委託事業

委託元：東京外国語大学

委託内容：

#### (1) 国際医療通訳講座第1回講座への中国人講師招請

・被招請者

田 猷氤 中日友好医院医療保険与発展弁公室主任

邵 建華 復旦大学華山医院副院長

・招請期間

2010年10月14日(木)～17日(日)

#### (2) 現地医療事情テキストの執筆依頼、テキスト原稿の翻訳

協会が招請した田・邵両氏にテキストの執筆を依頼した。

#### (3) 中国医療事情調査訪問の実施

・実施期間：2011年1月10日(月)～13日(木)

・訪問都市：上海市、北京市

・訪中者：7名

協会から大柳治正常任理事、岡田光子課長が同行

・訪問先：同済大学附属同済医院、上海森茂診所、復旦大学附属華山医院、中国中医科学院西苑医院、首都医科大学附属安貞医院、東湖社区卫生服務中心

### 2. 平成22年度「サービス産業イノベーション促進事業(国際医療交流調査研究事業)」に係る委託事業(中国関連調査等)

委託元：野村総合研究所

委託内容：

#### (1) グループインタビューの参加者招集

・日時：2010年10月28日(木) 18:30～20:30

・場所：学士会館

・テーマ：「中国人医療関係者から見た日本の

医療」

・出席者：13名

・概略：経済産業省戸澤氏より事業趣旨説明があり、野村総合研究所小松氏より日本と中国の医療に対する印象、日中両国の連携の可能性等に関する質問を中心に行った。

#### (2) 日中笹川医学奨学金進修生同学会会員向けアンケート票の発送、回収、入力、翻訳

・送付先：108名

(同学会会員、同学会役員等のカタログ見本掲載関連領域医師)

・設問内容：

1) 担当患者の海外医療、サービスの利用について

2) カタログの有用性検証

#### (3) 医療交流調査訪中の実施

・実施期間：2011年3月2日(水)～4日(金)

・訪問都市：大連市、北京市

・訪中者：4名

協会から岡田光子課長が同行

・訪問先：大連医科大学附属第一医院、大連中山VITUPクリニック、中国リハビリテーション研究センター、JIICA北京事務所、北京天衛診所

#### (4) 日本の医療機関に関わるカタログの発送

・発送日：2011年3月28日(月)

・発送数：500件

掲載機関に関連する専門領域分野及び日中医学交流に関心のある医療従事者

## 総務報告の部

### I. 役員を選任について

#### A. 理事の選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、理事を選任。

1. 2010年5月28日第51回評議員会に於いて理事を選任。

・就任 2名

原中勝征 社団法人日本医師会会長

横倉義武 社団法人日本医師会副会長

2. 2011年3月25日第52回評議員会に於いて理事を選任。

・就任 1名

庄田 隆 第一三共株式会社会長

・辞任 1名

森田 清 第一三共株式会社相談役

#### B. 評議員の選出

寄附行為第34条及び第19条に基づき評議員を選出。

1. 2010年5月28日第51回理事会に於いて評議員を選出。

・就任 4名

石井正三 社団法人日本医師会常任理事

鈴木邦彦 社団法人日本医師会常任理事

石河 修 大阪市立大学大学院医学研究科長

津田喬子 社団法人日本女医会会長

2. 2011年3月25日第52回理事会に於いて評議員を選出。

・就任 1名

小川 忍 社団法人日本看護協会常任理事

・辞任 2名

永池京子 社団法人日本看護協会前常任理事

天野 曄 社団法人日本小児科医会顧問

## II. 会員拡大と募金活動について

### A. 会員数の推移

	10年3月 末現在	2010年度 入退会	11年3月 末現在
個人 会員	514名	入会37名 退会43名	508名
法人 会員	61社	入会13社 退会3社	71社
特別 会員	3社	入会0社 退会0社	3社

### B. 募金活動

#### 1. 年末寄付金・その他の寄付金

2010年度の年末寄付金及びその他頂戴した寄付金は以下の通り。

多くの法人・個人にご協力戴いた寄付金は、当協会が実施した助成事業、日中医学交流会議、広報事業等に充当した。

##### a. 団体・法人 17法人

アボットジャパン(株)、エーザイ(株)、小野薬品工業(株)、ゼリア新薬工業(株)、大鵬薬品工業(株)、田辺三菱製薬(株)、大日本住友製薬(株)、東レ・メディカル(株)、日本イーライリリー(株)、(社)日本医師会、アステラス製薬(株)、大塚製薬(株)、第一三共(株)、中外製薬(株)、武田薬品工業(株)、(株)JIMRO、ファイザ(株)

##### b. 個人 52名

森岡恭彦、町田幸雄、宮田 侑、石館光三、田口鐵男、常光謙輔、江藤一洋、日暮 眞、北村唯一、稲葉 裕、牛尾恭輔、杉本恒明、池田 裕、下村克朗、諏訪文彦、方 一如、松村英雄、森 亘、花岡一雄、金原秀雄、木村光孝、水野 昇、箕田健生、土山秀夫、田上順次、糸川秀治、橋本敬太郎、吉倉 廣、安達 勇、家森幸男、正山征洋、木村政之、金井 浄、高倉公朋、猪熊茂子、鈴木磨郎、

山本昌弘、市川和孝、五島瑳智子、山中宣昭、  
武藤徹一郎、松井比呂美、森田 清、河野信博、  
今井一洋、李 向軍、比留間聡、岡田光子、  
太田晶子、末原珠生、上野恵子、(匿名)

### Ⅲ. 協会運営に係る事項

#### A. 理事会・評議員会の開催

##### 1. 第51回評議員会

日 時：2010年5月28日(金) 15:00～16:30  
場 所：東京ガーデンパレス高千穂A  
出席者：75名(委任出席64名)  
議 題：理事選任の件

##### 2. 第51回理事会

日 時：2010年5月28日(金) 15:00～16:30  
場 所：東京ガーデンパレス高千穂A  
出席者：25名(委任出席15名)  
議 題：2009年度事業報告の件  
2009年度決算報告の件  
特定公益増進法人申請の件  
日本財団助成金申請の件

##### 4. 第52回評議員会

日 時：2011年3月25日(金) 15:00～17:00  
場 所：日中医学協会事務所会議室  
出席者：100名(委任出席97名)  
議 題：理事選任の件  
公益法人改革について

##### 5. 第52回理事会

日 時：2011年3月25日(金) 15:00～17:00  
場 所：日中医学協会事務所会議室  
出席者：32名(委任出席31名)  
議 題：2011年度事業計画の件  
2011年度収支予算の件  
評議員選出の件  
役員人事の件  
運営委員会委員委嘱の件  
公益法人改革について

#### B. 常任理事会の開催

##### 1. 第219回常任理事会

日 時：2010年5月13日(木) 17:00～19:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：理事長他5名  
議 題：理事会・評議員会議題案について他

## 2. 第220回常任理事会

日 時：2010年7月15日(木) 15:00～17:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：理事長他5名  
議 題：公益法人改革について他

## 3. 第221回常任理事会

日 時：2009年10月1日(金) 15:00～17:00  
場 所：学士会館303号室  
出席者：理事長他9名  
議 題：日本財団への助成金申請について他

## 4. 第222回常任理事会

日 時：2010年12月17日(金) 15:00～17:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：理事長他8名  
議 題：共同研究等助成事業委員会の開催と2011年度受給者決定について他

## 5. 第223回常任理事会

日 時：2011年2月17日(木) 15:00～17:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：理事長他5名  
議 題：2011年度事業計画、予算について他

## C. 公益法人改革への対応について

### (1)常任理事会における審議・決定

2011年2月17日(木)開催の第223回常任理事会は、最初の評議員選定委員会設置・運営規則(案)及び最初の評議員選任委員会委員候補案を審議・決定し、第52回理事会・評議員会において諮ることを決定した。

### (2)第52回理事会・評議員会における議決

2011年3月25日(金)開催の第52回理事会・評議員会は、最初の評議員選定委員会設置・運営規則(案)及び最初の評議員選任委員会委員候補案を審議・決定した。

## D. 事業計画・財務委員会の開催

### 1. 第4回事業計画・財務委員会

日 時：2011年2月8日(火) 18:00～20:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：酒谷委員長他9名(委任出席3名)  
議 題：2010年度実施事業、財務状況について  
2011年度事業計画案、収支予算案について

## E. 各運営委員の委嘱

寄附行為第33条及び運営委員会規程第3条、第4条に基づき各運営委員を委嘱。

### 1. 共同研究等助成事業委員会委員の委嘱

2010年5月28日第51回理事会は、門脇孝氏を同委員に委嘱した。

就任：門脇 孝 東京大学大学院医学系研究科  
糖尿病・代謝内科教授

### 2. 日中笹川医学奨学金運営委員会委員の委嘱

2010年5月28日第51回理事会は、岩本愛吉氏ら3氏を同委員に委嘱した。

就任：岩本愛吉 東京大学医科学研究所感染症分野教授  
花岡一雄 JR東京総合病院院長  
林 謙治 国立保健医療科学院院長

### 3. 事業計画・財務委員会委員の委嘱

2011年3月25日第52回理事会は、事業計画・財務委員会永池京子委員の辞任に伴い、小川忍氏を同委員に委嘱した。

辞任：永池京子 前社団法人日本看護協会常任理事  
就任：小川 忍 社団法人日本看護協会常任理事

## F. 日本財団の補助金について

2011年2月24日付で2011年度助成金申請に対する  
審査結果が以下の通りあった。

①共同研究等助成金に対する助成

助成金額 15,000,000円

②日中笹川医学奨学金制度第34期研究者受入に  
対する助成

助成金額 140,280,000円

③基盤整備事業

助成金額 35,000,000円

日中笹川医学奨学金制度第33期研究者名簿(2010年9月～2011年8月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
鄭慶平	復旦大学附属華山医院住院医師 経頭蓋磁気刺激による片麻痺の治療	東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野	出江紳一 教授
閻麗	中国人民解放軍総医院主治医師 ヒトiPS細胞の樹立と分化に関する研究	秋田大学大学院医学系研究科分子機能学・代謝機能学 東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター幹細胞プロセッシング分野	杉山俊博 教授 辻浩一郎准教授
姚春艷	中国人民解放軍第三軍医学第一附属医院主治医師 PUREテクノロジーによるバイオセンサーの作製	東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻分子医科学分野	上田卓也 教授
鄭小芳	北京胸科医院助理研究員 iPS(induced pluripotent stem cell)技術を用いた肺癌の新しい診断法および治療法の開発	千葉県がんセンターがん先進治療開発研究室	中川原章 センター長
李文昌	復旦大学附属中山医院主治医師 肝細胞癌等難治性腫瘍に対する免疫・遺伝子治療の開発研究	千葉県がんセンターがん治療開発グループ	田川雅敏 部長
王寧群	首都医科大学宣武医院主治医師 大脳認知機能の分子神経科学	東京大学大学院医学系研究科統合生理学	宮下保司 教授
馮曉彬	中国人民解放軍第三軍医学第一附属医院主治医師 肝細胞癌再発・転移に関する基礎および臨床的研究	東京大学大学院医学系研究科肝胆膵外科学・人工臓器移植外科学	國土典宏 主任教授
林嘉穎	広東省人民医院医学研究中心助理研究員 糖分子標的薬の探索	東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター	中村祐輔 センター長
王富	中国人民解放軍第四軍医学大学口腔医院主治医師 LiO <sub>2</sub> ・SiO <sub>2</sub> 2相ガラスの創製とその評価	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科先端材料評価学	高橋英和 准教授
楊瑛	首都医科大学附属北京友誼医院主治医師 骨代謝の研究	東京医科歯科大学難治疾患研究所分子薬理学	野田政樹 教授
路志紅	中国人民解放軍第四軍医学第一附属医院主治医師 自然睡眠・覚醒サイクルおよび麻酔におけるメラニン凝集ホルモンの役割に関する研究	帝京大学医学部麻酔学	福田悟 教授
潘柏林	北京大学第三医院主治医師 動物実験を用いた骨欠損・組織欠損に対する実験的研究	昭和大学医学部形成外科学	土佐泰祥 准教授
李岩	山東省疾病予防控制中心主管技師 腸管系ウイルスの遺伝子診断法に関する研究	国立感染症研究所ウイルス第二部	吉田弘 主任研究官
梁秦川	中国人民解放軍第四軍医学第二附属医院主治医師 てんかんの外科治療に関する研究	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科診療部	大槻泰介 部長
于宏偉	哈爾濱医科大学講師 Hepatic stem cell isolation, characterization and their induced differentiation	横浜市立大学大学院医学研究科臓器再生医学	谷口英樹 教授
姜峰林	延辺大学附属医院主治医師 心不全の免疫学的発症機構の解明と臨床応用	北里大学医学部循環器内科学	和泉徹 主任教授
戎龍	北京大学第一医院副主任医師 胆膵内視鏡診断と治療	北里大学東病院内視鏡科	木田光広 科長代理
崔英蘭	延辺大学附属医院護師 癌患者の心理状態と看護援助	北里大学大学院看護学研究科がん看護学	稲吉光子 教授
李鎬煒	中国人民解放軍総医院医学工師 医用圧力センサーの開発に関する研究	慶應義塾大学理工学部物理情報工学科	本多敏 教授
金鉄峰	延辺大学医学部基礎医学院助教 がん転移の分子機構を解明する研究	金沢大学がん研究所腫瘍内科研究分野	矢野聖二 教授
鄒峻	復旦大学附属華東医院主治医師 炎症性腸疾患における基礎的および臨床的研究	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学	後藤秀実 教授
王軍彩	深圳市龍崗区衛生監督所科員 トリクロロエチレンによる全身性皮膚・肝障害の発症要因に関する研究	名古屋大学大学院医学系研究科環境労働衛生学	那須民江 教授
張星一	国家食品薬品監督管理局主管薬師 Liposome が担体としてのDNA薬物転送システム(DDS)の研究と評価	京都大学大学院薬学研究科薬品動態制御学分野	橋田充 教授
劉海濤	中国人民解放軍第四軍医学看護士官系260医院医師 心不全と消化器機能の関連の解明	国立循環器病研究センター心臓血管内科部門心不全科	北風政史 部長
毛源傑	中日友好医院住院医師 内因性ホルモングレリンの心血管・代謝系における意義の解明	国立循環器病研究センター糖尿病・代謝内科	岸本一郎 医長
楊冬	中日友好医院主治医師 脳血管障害に対する外科治療に関する研究	国立循環器病研究センター脳神経外科	飯原弘二 部長
潘婷	蘇州市市立医院本部護師 ハイリスク新生児看護ケア	大阪府立母子保健総合医療センター看護部	宇藤裕子 部長
呉江	中国人民解放軍第四軍医学大学口腔医院主治医師 生体活性因子と生体親和性を組み込んだインプラント表面修飾に関する研究	広島大学大学院医歯薬学総合研究科生体材料学	岡崎正之 教授
段莉	海南医学院附属医院主治医師 歯周組織における破骨細胞の分化及び機能調節機構	福岡歯科大学細胞分子生物学	岡部幸司 教授
葉景佳	浙江大学医学院附属第二医院実験師 膜型セリンプロテアーゼインヒビターHAI-1の機能解析特に細胞増殖・遊走における意義の解析	宮崎大学医学部病理学(腫瘍・再生病態学)	片岡寛章 教授



# 監査報告書

2010年4月1日より2011年3月31日  
までの事業について、記録に基づき監査いたしました。

その結果、当期に実施した事業が寄付行為に基づいて適正に行われたことを確認しました。

2011年 5月 6日

監 事 金 井 浄 ①  
公認会計士

監 事 杉 本 恒 明 ①





2010年度事業報告  
財団法人日中医学協会  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3  
住泉KMビル6階  
TEL 03-5829-9123  
FAX 03-3866-9080  
発行日 2011年6月  
発行人 安達 勇